

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州 DC における諏訪エリアの観光地促進事業
事業主体 (連絡先)	諏訪地方観光連盟 諏訪市高島 1-22-30 諏訪市役所観光課内 0266-52-4141
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,005,340 円 (うち支援金 : 1,596,000 円)

事業内容

- 1 情報集約事業
 - ・夏季誘客パンフレット「諏訪エリア観光ガイド」作成
- 2 情報発信事業
 - (1) イベントでのブース出展
 - (2) 信州 DC 開幕イベントの開催
 - (3) 臨時イベント列車での車内 PR
- 3 受入体制整備事業
 - ・観光従事者に向けた情報共有、人材育成研修
 - (1) 「霧ヶ峰で朝食を」 実地研修
 - (2) 「苔の森 (白駒池)」 実地研修



【臨時イベント列車での車内 PR】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 情報集約事業
 - ・北八ヶ岳苔の会や山岳指導員と共に、高原の観光素材を中心に「山の信州」を発信できた。また、朝・夜に楽しめる素材を集約し、発信することで、エリア内での滞在促進につなげられた。
- 2 情報発信事業
 - ・原村でのイベントを通して、県内外から訪れた高原リゾートに関心の高い層に対して諏訪エリアの魅力を発信できた。また、JR 関連イベントでは、地域住民や地元の企業に協力していただき、地域の伝統や製造技術をアピールできた。
- 3 受入体制整備事業
 - ・霧ヶ峰、苔の森 (白駒池) は今回の信州 DC の中でも注目を浴びており、素材の体験機会をつくることで、お客様からの問い合わせに対し、実地体験に基づいた丁寧な案内・紹介につなげられた。

【目標・ねらい】

- 1 山岳観光情報や湖周エリアの独自性を踏まえた情報を集約、発信する。
- 2 集約情報を観光客の滞在時間延長、消費額拡大につなげる。
- 3 地域として観光客の受入環境を整え、継続的な観光誘客につなげる。

※自己評価 【A】

【理由】 観光宣伝大使や山岳指導員をはじめとする、地域住民・事業者を巻き込み、情報ツールの整備、発信を行うことで、観光滞在時間の延長・観光消費額増への継続的な事業を実施した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・注目された苔の森などの素材を夏以外の時期も活用し、諏訪エリアの魅力を高めるとともに、引き続き朝・夜の素材を磨き上げることで滞在時間の延長を図る。
- ・イベントや研修で構築したつながりを継続し、情報共有することで、おもてなしをはじめとする広域での観光案内の向上を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある